



ASIS インターナショナル日本支部
広報担当理事 長瀬 泰郎



ASIS インターナショナル日本支部便り

月次セミナー 10 月度 「9/14-21 ASIS 世界大会報告」

10月の月次セミナーは、去る9月14日から21日まで、米国大使館商務部と共催で企画したASIS インターナショナル世界大会視察団参加メンバー有志3人による「9/14-21 ASIS 世界大会報告」がテーマでした。筆者が世界大会の全体像を、アラコムの成田純一氏が大規模併設展と見どころを、ロックシステムの岡田和寛氏が大規模ショッピングセンターの警備にみる米国セキュリティ産業の一端を、それぞれ紹介しました。

2日目には、3代に亘るASIS インターナショナル会長を含む本部の幹部との交流を行いました。



ASIS 世界大会会場



開会の挨拶をする徳田支部長



ASIS 本部トップと視察団との交流

■ ASIS 世界大会の全体像(長瀬)

概要は次の通りです。

- 開催期間 9/15-18
- 開催場所 米ジョージア州アトランタ市
- セミナー数 181
- セミナー参加 2,000 名程度
- 出展社数 約 850 社
- 入場者数 21,000 名
- 会場面積 25,000 m² (7,600 坪)

ASIS は個人会員だけで構成され、その内訳も、自分の会社や組織のセキュリティを担当する専門家が中心であり、セキュリティ商品やサービスの提供会社に所属する会員はあまり多くありません。また、世界のセキュリティ専門家の知恵の源が集まっているのがASIS 世界大会です。日本ではまだなじみのない CSO(大手企業のセキュリティ担当役員)の交流プログラムも毎年開かれています。この大会を機に、日本でも ASIS の権威ある資格(CPPとPSP)の受験ができるよう、環境作りをスタ

ートしています。



セミナー会場

2009 年大会は、9/21-24、カリフォルニア州アナハイムで開かれる予定です。

また、2009 年 2 月には香港でアジア地区大会も開かれる予定です。

■ 併設展と出展動向(成田)

今年で視察団参加 2 年目の成田氏は、Lenel、Bosch、Pelco などの大手企業が映像系と出入管理系を統合したシステムを幅広く手がけていること、在日外資系企業はこれら国際水準のシステムを採用していることなどを述べました。

映像系は昨年のような過熱した展示から、落ち着いたもののあるもの変わってきていること。それにも拘わらずアジア系企業の勢いは相変わらずだったと指摘しました。



展示会について話す成田氏

日本では作り込みソフトウェアによる全体システムが多いのですが、この展示会で見ると、米国では「運用」や「統合」を重視したパッケージシステムによるソリューションが目立ちました。

一方、会場には日系企業の出展も多く、10 社以上がブースを構えていましたが、パーツやユニットを中心にしたものが主流でした。



850 社が出展する会場

視察団は、ASIS の後、カリフォルニア州シリコンバレー地帯の企業 2 社を訪問しました。1 社は立体画像を捉えて監視できる 2 眼カメラに人間の位置確認アルゴリズム組み込んだ TYZX 社、もう 1 社は離れた位置から照合ができるバイオメトリクス商品を開発している AOptix 社でした。

■ 大規模ショッピングセンターの警備にみる米国セキュリティ産業の一端(岡田)

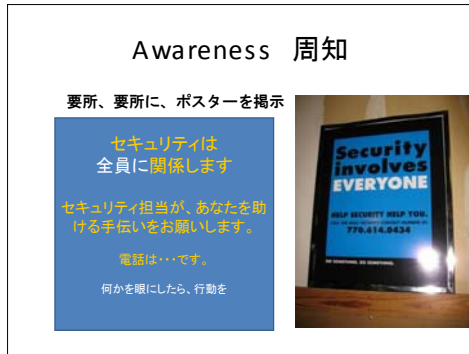
アトランタ郊外にある大規模ショッピングセンター、モール・オブ・ジョージアは事業主がセンター建設段階からショッピングセンター警備専門の IPC インターナショナル社に企画と運用を委託しています。



ショッピングセンター警備について話す岡田氏

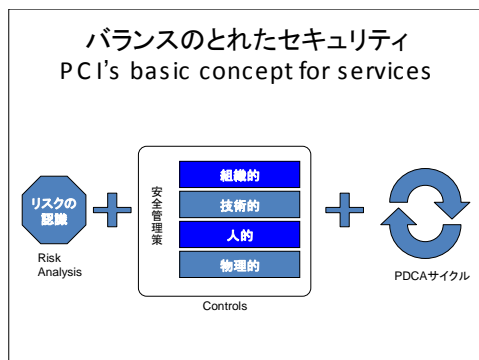
常駐警備であり、主にコミュニケーションや巡回管理システムに力を入れていますが、警備手法の構築と継続的な仕組みの改善に力点があり、むやみにハイテク商品を導入していないところが驚きでし

た。
その一例として日本でも応用できそうなものが、テナント社員のセキュリティ・アウェアネスを喚起するポスターでした。



アウェアネス喚起のポスター

さらに印象的だったのは、地域の消防署や警察の協力を得て継続的に教育・訓練を行っていることでした。



バランスのとれたセキュリティの形

なかなかバランスの取れたセキュリティ体制にはお目にかかれないものですが、同社の手法は ASIS を初めとする欧米のセキュリティ管理手法そのものであり、日本企業にとって大いに参考になるものでした。

以上、3名によるプレゼンテーションでした。

■ ASIS インターナショナル日本支部の月次セミナーへのお誘い

ASIS インターナショナル日本支部は、月次セミナ

ー(「セキュリティミーティング」)を開いています。産業セキュリティに興味がある方ならどなたでも参加できます。お申し込みはホームページから！

■ 開催日

毎月第三火曜日 午後6時半より

■ 場所

日本支部のホームページでご確認ください。

www.asis-japan.org

■ 参加費

2,000 円 (ASIS 会員・非会員同一料金)

■ ASIS インターナショナル公式資格に挑戦しませんか？

ASIS インターナショナル日本支部では公式資格 CPP(総合資格)とPSP(物的セキュリティ資格)の2つを日本で受験する方を募集しています。受験参考書の販売も行なっています。詳しくは下のアドレスまでメールでお問い合わせください。

このコーナーへのお問い合わせや入会お申込みは ASIS インターナショナル日本支部 事務局まで

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-2-17
日本保安人事株式会社内
TEL 03-3255-3468 FAX 03-3258-7630
E-Mail info@asis-japan.org
www.asis-japan.org